授業科目名	地域・在宅看護学特論Ⅰ	単位数	1単位	時間数	
授業科目名英字	Topics in community and home care nursing I	必修・選択	NPコース必修	受講対象年	１年次２年次
科目コード	9503015	授業の形式	講義　演習	講義室等	第6講義室
開設学期等	後期前半 月曜日 13・14時限				

【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】
中村　順子	教授/保健学専攻	B-209	884-6516				
宇都宮　宏子	非常勤講師/在宅ケア移行支援研究所			野島　弘基	非常勤講師/エマオ訪問看護ステーション		

授業の目的・到達目標

１．地域・在宅看護の今日的位置づけと基本的理論を学び、それぞれの領域の看護実践にいかすことができる。
２．住民の生活の質の向上のために高度実践看護師として取るべき役割について考察する。
３．地域包括ケアシステムにおける看護の在り方や目指すところについて考察を深め、研究知見や理論を活かして指導的看護実践に活かすことができる。

授業の概要と進行予定及び進め方

事前課題や講義内容に基づくディスカッション、プレゼンテーション等自身の意見の言語化を行うことで主体的に学ぶ。

成績評価の方法

アセスメントポリシーに基づき、本科目の到達目標の達成状況を、事前課題・課題達成状況５０%、プレゼンテーション・ディスカッション５０%として評価する。

教科書・参考書・参考文献等

教科書等	書籍名	著者	出版社
参考書	『レイニンガー看護論』	M.レイニンガー	医学書院
参考文献	『社会保障制度改革国民会議報告書』	社会保障制度改革国民会議	
参考書	『病院の世紀の理論』	猪飼周平	有斐閣
参考書	『在宅医療バイブル』	川越正平編	日本医事新報社
参考書	『在宅医療カレッジ』	佐々木　淳	医学書院
参考書	『退院支援ガイドブック』	宇都宮宏子	Gakken

コメント

授業展開	Web受講	授業内容
第1回　10月3日　1-2時限 【担当】 野島　弘基	×	地域在宅医療におけるNPの実践と課題１ 【時間外学習】本日の講義から地域在宅看護の特徴を考察する
第2回　3-4時限 【担当】 野島　弘基	×	地域在宅領域におけるNPの実践と課題２ 【時間外学習】本日の講義から地域におけるNPの役割と視点を考察する
第3回　13-14時限 【担当】 中村　順子	×	地域看護学・在宅看護学の概念整理と歴史的変遷・今日的役割 【時間外学習】レイニンガーの文化ケア理論ｐ4-69を読み、文化ケア理論とは何かを把握し次回講義に備える
第4回　13-14時限 【担当】 中村　順子	×	在宅看護の専門性 場と対象の理解と文化ケア理論 【時間外学習】ICF（国際生活機能分類）の特徴を調べ看護への応用を考えてくる
第5回　13-14時限 【担当】 中村　順子	×	在宅看護における支援技術１ 看護の展開と生活モデル・看護の役割 【時間外学習】資料を提示するので生活モデルと医学モデルについて調べてくる
第6回　13-14時限 【担当】 中村　順子	×	在宅看護における支援技術２ 在宅ケアシステム・地域包括ケアシステムと在宅医療 【時間外学習】院内におけるチーム医療と地域・在宅におけるチームケアの共通点と相違点を考察してくる
第7回　1-2時限 【担当】 宇都宮宏子	×	在宅移行支援技術 【時間外学習】在宅移行に必要な視点、看護師の役割を考察する
第8回　3-4時限 【担当】 宇都宮宏子・中村順子	×	在宅移行支援技術 医療依存度が高い療養者のマネジメント・事例を使ったディスカッション 【時間外学習】NPによる医療ケアが必要な療養者へのマネジメント、看護について自身の意見を述べる